

# 中小企業景況調査報告書

令和6年10～12月期実績  
令和7年1～3月期見通し

鹿児島県商工会連合会

(令和6年12月発行)

この調査は、商工会地域の産業状況等地域の経済動向について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速・的確に収集して、全国商工会連合会と連携し、全国一斉に実施しているものです。

この報告書の中で、用いられているD・I指数とは、ディフュージョン・インデックスの略で、【増加・上昇・好転】の割合から【減少・低下・悪化】の割合を差し引いた値で企業経営者の景気動向を表す指数として利用されています。

## 〈お天気マークの説明〉

 特に好調 +30.0 以上	 好調 +29.9～ +10.0	 まあまあ +9.9～ ▲9.9	 不振 ▲10.0～ ▲29.9	 極めて不振 ▲30.0 以上
-------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

- 調査対象期間 令和6年10～12月期を対象とし、調査時点は令和6年11月15日とした。  
令和7年1～3月期は予測値となる。
- 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接調査による。
- 調査対象商工会 かごしま市・南九州市・さつま町・鶴の町・伊佐市・始良市・霧島市  
志布志市・大崎町・垂水市・錦江町・西之表市・龍郷町・徳之島町
- 回答企業 対象企業 205企業  
製造業：43企業 建設業：27企業 小売業：57企業 サービス業：78企業

## 県内産業別業況DI

	製造業	建設業	小売業	サービス業
5年10月～12月期	 ▲4.6	 23.3	 ▲19.3	 ▲4.1
6年1月～3月期	 ▲2.2	 6.7	 ▲23.2	 ▲7.8
6年4月～6月期	 ▲9.1	 7.2	 ▲27.6	 ▲2.5
6年7月～9月期	 ▲16.7	 ▲7.4	 ▲19.0	 ▲19.5
6年10月～12月期	 ▲9.3	 11.1	 ▲25.9	 ▲11.5
来期見通し(1～3月期)	 0.0	 11.1	 ▲24.0	 ▲11.5

## 総合(業況)

前年同期(令和5年10月～12月期)と比較した今期(令和6年10月～12月期)の業況は、製造業▲9.3(前年同期比4.7ポイント悪化)、建設業11.1(前年同期比12.2ポイント悪化)、小売業▲25.9(前年同期比6.6ポイント悪化)、サービス業▲11.5(前年同期比7.4ポイント悪化)となった。

今期については、前年同期と比較すると、原材料の価格高騰に加え、最低賃金アップによる人件費の増加等もあり全業種、悪化となった。

また前期(令和6年7月～9月期)と比較すると、製造業7.4ポイント改善、建設業18.5ポイント改善、小売業6.9ポイント悪化、サービス業8.0ポイント改善となった。小売業を除いては改善となっているものの、酷暑による野菜の高騰や人件費の増加もあり予断を許さない状況である。

なお、来期(令和7年1月～3月期)の見通し(DI)は、今期と比較すると、製造業9.3ポイント改善、小売業1.9ポイント改善、建設業とサービス業は横ばいの見通しとなり、今期と比較的に変わらない状況と予想されるが、引き続き人件費増の影響と、補助金の削減によるガソリンの高騰により経費増に影響があると懸念され、消費者にとっても中小企業・小規模事業者にとっても厳しい状況が続くと思われる。

# 業種別景気動向

## 【製造業】 有効回答数 43 企業

調査対象企業内訳：食料品(18)、飲料・飼料・たばこ(8)、繊維工業(1)、衣類、その他繊維製品(1)  
 一般機械器具(1)、家具・装備品(2)、木材・木製品(2)、プラスチック製品(1)、  
 印刷・同関連(4)、金属製品(3) 窯業・土石製品(1)、その他(1)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
	天気	数値	天気	数値	天気	数値	天気	数値
5年10月～12月期		6.8		▲22.7		▲4.6		▲4.6
6年1月～3月期		▲8.9		▲15.6		2.3		▲2.2
6年4月～6月期		▲13.7		▲22.7		▲6.8		▲9.1
6年7月～9月期		▲19.0		▲45.2		▲11.9		▲16.7
<b>6年10月～12月期</b>		<b>18.6</b>		<b>▲23.2</b>		<b>▲4.7</b>		<b>▲9.3</b>
来期見通し(1～3月期)		11.7		▲4.6		▲13.9		0.0

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・物価高騰により消費者の需要が低下し、大幅な売上減少に繋がっている。麴による芋焼酎に香りなどの差別化が進んでいるが、研究開発等に立ち遅れた焼酎蔵の淘汰が今後進むと思われる。(蒸留酒製造業)
- ・万博の影響もあり、チタン製品がいまだに納期がかかる。そのため、受注しても納期できるのが3か月以上もかかる。(強化プラスチック製容器・浴槽等製造業)
- ・物価高の影響により、仕入価格が横ばい又は上昇傾向にあり苦しんでいる。それによる製品価格の見通がつかない。(水産練製品製造業)

### 経営上の問題点

第1位 原材料価格の上昇	45.2%	(前期比 +18.4)
第2位 需要の停滞	14.3%	(前期比 +2.1)
第3位 原材料費・人件費以外の経費の増加	9.5%	(前期比 +9.5)

## 【建設業】 有効回答数 27 企業

調査対象企業内訳：総合工事業(20)、職別工事業(3)、設備工事業(4)

	完成工事額		採算		資金繰り		業況	
	天気	数値	天気	数値	天気	数値	天気	数値
5年10月～12月期		30.0		0.0		3.3		23.3
6年1月～3月期		38.0		0.0		3.3		6.7
6年4月～6月期		3.6		▲3.6		0.0		7.2
6年7月～9月期		14.8		3.7		▲3.7		▲7.4
<b>6年10月～12月期</b>		<b>25.9</b>		<b>▲3.7</b>		<b>7.4</b>		<b>11.1</b>
来期見通し(1～3月期)		▲7.4		▲7.4		▲3.7		11.1

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・公共投資の冷え込みでじわりと暗い影を落としている。また最低賃金が2年連続大幅改定となり、負担は増え、業者の殆どは、日給月給の給与を採用している中、週休2日制や時間外労働上限規制で効率も悪くなる一方である。(一般土木建築工事業)
- ・政府の窓改修の補助事業でサッシ部門は活況だが、補助金がなくなった後が心配。地元でのリフォームは人手が足りなく、手が回らずに長い事待たせている。(建築リフォーム工事業)
- ・仕入・資材価格の大幅な上昇により、新築物件の受注が少ない。(建築工事業)

### 経営上の問題点

第1位 材料価格の上昇	30.8%	(前期比 -2.5)
第2位 従業員の確保難	23.1%	(前期比 -1.9)
第3位 熟練技術者の確保難	15.4%	(前期比 +15.4)

## 【小売業】 有効回答数 57 企業

調査対象企業内訳：飲食料品(27)、各種商品(2)、織物・衣服・身の回り品(5)、家具・建具(3)  
自動車・自転車小売業(1)、その他(19)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
5年10月～12月期		▲8.8		▲31.6		▲24.6		▲19.3
6年1月～3月期		▲17.5		▲28.0		▲16.0		▲23.2
6年4月～6月期		▲27.6		▲34.5		▲22.4		▲27.6
6年7月～9月期		▲25.9		▲31.0		▲14.1		▲19.0
<b>6年10月～12月期</b>		<b>▲28.1</b>		<b>▲35.1</b>		<b>▲21.4</b>		<b>▲25.9</b>
来期見通し(1～3月期)		▲17.5		▲26.3		▲17.8		▲24.0

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・9月、10月と30℃以上の夏日が多く秋冬物の動きがかなり鈍い。さらに物価高騰の影響や近隣のクリーニング店、病院の閉鎖で客足が少なく購入意欲も薄れている状況。なかなか回復する兆しがみられない。  
(衣類、身の回り品小売業)
- ・最低賃金が大幅に上昇したことに対して、商品単価の適切な価格転嫁が間に合っておらず、業況は悪化傾向にある。  
(各種食料品小売業)
- ・11月に入り、客足が遠のき日々の売上げが上がらない時もある。物価高騰や各所でマルシェやイベントが多く開催されていて、店舗へ足を運んでもらうための工夫が必要となっている。  
(菓子小売業)

### 経営上の問題点

第1位 仕入単価の上昇	30.2%	(前期比 -3.8)
第2位 店舗の狭隘・老朽化	11.3%	(前期比 +5.6)
第3位 消費者ニーズの変化	9.4%	(前期比 +1.9)

## 【サービス業】 有効回答数 78 企業

調査対象企業内訳：洗濯・理美容業(17)、飲食店(28)、自動車整備業(11)、宿泊業(7)  
運送業(2)、その他(13)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
5年10月～12月期		6.7		▲6.7		▲9.3		▲4.1
6年1月～3月期		6.5		▲20.8		▲13.1		▲7.8
6年4月～6月期		0.0		▲25.7		▲7.7		▲2.5
6年7月～9月期		5.2		▲27.3		▲14.3		▲19.5
<b>6年10月～12月期</b>		<b>1.3</b>		<b>▲24.4</b>		<b>▲11.7</b>		<b>▲11.5</b>
来期見通し(1～3月期)		▲5.1		▲23.1		▲7.8		▲11.5

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・仕入単価が毎月値上りしており、原価率が40%に近づいている状況であり、販売価格を上げざるを得なくなっている。競合店が10月に閉めてから売上が1割程度増加したが野菜の値上げにより利益がほとんど出ない。  
(食堂・レストラン業)
- ・賃金の上昇で、働く時間が減り経営者に大きな負担になってきている。103万円の壁をなくしてほしい。  
(クリーニング業)
- ・新型コロナウイルスの影響が今も尾を引いており、お店をあまり営業できていないのが現状である。又、お客様によっては良い商品を求めるニーズもある為、販売商品の変更などに余儀なくしている。  
(美容業)

### 経営上の問題点

第1位 材料等仕入単価の上昇	45.9%	(前期比 -0.7)
第2位 需要の停滞	13.5%	(前期比 +3.9)
第3位 人件費の増加	12.2%	(前期比 +4.0)

# 全 産 業【鹿児島県】

令和6年10月期～12月期

## 全 産 業

鹿児島県

2024年10月～12月期

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比来期見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	205	27.8	44.4	27.8	0.0	205	18.5	57.6	23.9	-5.4
売上（加工）単価・客単価	178	23.6	59.0	17.4	6.2	178	15.7	69.7	14.6	1.1
売上（加工）数量	43	20.9	58.1	20.9	0.0	43	20.9	62.8	16.3	4.7
客数	57	3.5	52.6	43.9	-40.4	57	5.3	61.4	33.3	-28.1
利用客数	78	19.2	46.2	34.6	-15.4	78	14.1	61.5	24.4	-10.3
資金繰り	203	5.9	77.8	16.3	-10.3	203	5.4	77.8	16.7	-11.3
輸出額	15	6.7	80.0	13.3	-6.7	15	6.7	93.3	0.0	6.7
受注（新規契約工事）額	27	29.6	55.6	14.8	14.8	27	18.5	59.3	22.2	-3.7
原材料・商品等仕入れ単価	205	80.0	19.0	1.0	79.0	205	53.2	43.9	2.9	50.2
原材料在庫数量	43	7.0	86.0	7.0	0.0	43	4.7	86.0	9.3	-4.7
商品仕入数量	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
商品仕入額	57	47.4	33.3	19.3	28.1	57	29.8	52.6	17.5	12.3
商品・商品在庫数量	100	4.0	81.0	15.0	-11.0	100	1.0	86.0	13.0	-12.0
採算（経常利益）	205	7.8	60.0	32.2	-24.4	205	6.8	68.3	24.9	-18.0
従業員（含臨時・パート）	163	9.8	83.4	6.7	3.1	163	3.1	73.0	4.3	-1.2
外部人材（請負・派遣）	89	5.6	85.4	9.0	-3.4	89	2.2	87.6	10.1	-7.9
設備操業率	42	7.1	76.2	16.7	-9.5	42	4.8	90.5	4.8	0.0
引合	67	13.4	73.1	13.4	0.0					0.0
受注・契約残	70	10.0	82.9	7.1	2.9					0.0
業況（自社）	202	9.4	69.3	21.3	-11.9	202	8.9	72.8	18.3	-9.4

	今期（前期比）					来期（対当期比見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	205	25.4	54.1	20.5	4.9					
売上（加工）単価・客単価	178	16.9	68.0	15.2	1.7					
売上（加工）数量	43	23.3	58.1	18.6	4.7					
客数	57	12.3	52.6	35.1	-22.8					
利用客数	78	21.8	53.8	24.4	-2.6					
資金繰り	203	6.9	78.8	14.3	-7.4					
業況（自社）	202	10.9	74.3	14.9	-4.0	202	8.9	74.3	16.8	-7.9
受取手形期間	43	0.0	95.3	4.7	-4.7	43	0.0	95.3	4.7	-4.7
長期資金借入難度	163	3.7	87.1	9.2	-5.5	163	2.5	88.3	9.2	-6.7
短期資金借入難度（含手形割引）	146	4.1	89.0	6.8	-2.7	146	4.1	89.7	6.2	-2.1
借入金	161	16.8	80.1	3.1	13.7	161	16.8	80.1	3.1	13.7

	今期の水準				
	企業数	↗	→	↘	D I
業況（自社）	205	10.2	64.9	24.9	-14.6
生産に対する原材料在庫	43	2.3	86.0	11.6	-9.3
売上に対する製品在庫	100	8.0	88.0	4.0	4.0
採算（経常利益）	204	18.1	67.6	14.2	3.9
引き合	67	7.5	77.6	14.9	-7.5
生産設備	42	4.8	88.1	7.1	-2.4
従業員（含臨時・パート）	180	2.2	80.6	17.2	-15.0

上2表

- ↗：増加・上昇・好転・長期化・容易
- ：不変
- ↘：不足・低下・悪化・短期化・困難

左表

- ↗：良い・過剰・黒字・活発
- ：ふつう・適正・収支トントン・ふつう
- ↘：悪い・不足・赤字・低調